二　線路技術に係る講習の講義内容、教材に含める事項及び講義時間は、次のとおりとする。

1　線路設備及びその管理に関する科目

講義内容	教材に含める事項	講義時間
［略］		
二　設備管理一般		二時間四十分
ア　設備管理の概要	(1)　目標値管理	
	(2)　信頼性理論	
	［(3)　略］	
	(4)　ネットワーク構築	
	(5)　品質マネジメントシステム	
	(6)　ＩＴサービスマネジメントシステム	
イ　通信品質	(1)　伝送品質	
	(2)　安定品質	
三　工事管理		
ア　工事計画	(1)　設計要件の種類	
	(2)　設計指針の内容	
	(3)　設計図書の種類	
	(4)　資材計画の内容、建設副産物の処理方法、折衝対応、支障移転及び環境管理	
イ　工程管理	(1)　工程管理の手順	
	(2)　工程管理の手法	

二　［同上］

1　［同上］

講義内容	教材に含める事項	講義時間
［同上］		
二　設備管理一般		二時間
ア　設備管理の概要	(1)　目標値管理（サービス管理値、設備管理値等）及び設備記録（設備データベース管理、不良施設管理等）	
	(2)　信頼性理論（信頼度、保全度、ＭＴＢＦ、ＭＴＴＦ、ＭＴＴＲ、故障率、アベイラビリティ、バスタブ曲線等）	
	［(3)　同上］	
	［新設］	
	(4)　品質マネジメントシステム（ＩＳＯ９００１、ＪＩＳ　Ｑ　９００１等）	
	(5)　ＩＴサービスマネジメントシステム（ＩＳＯ／ＩＥＣ２００００、ＪＩＳ　Ｑ　２０００等）	
イ　通信品質	(1)　伝送品質（平均パケット遅延、ＩＰパケット損失率・誤り率、線路損失等）	
	(2)　安定品質（ＭＴＢＦ、ＭＴＴＦ、ＭＴＴＲ等）	
三　工事管理		
ア　工事計画	(1)　設計要件の種類（機能・性能要件、増設・拡張性要件、保守・運用性要件、コスト要件等）	
	(2)　設計指針の内容（ネットワークの基本的機能、トラヒック予測、ネットワークトポロジー等）	
	(3)　設計図書の種類（ネットワーク／システム設計仕様書、設備構成図、システムデータ設計図等）	
	(4)　資材計画の内容、建設副産物の処理方法、折衝対応及び支障移転（資材等の調達計画、用地調整、関連工事調整等）	
イ　工程管理	(1)　工程管理の手順（施工計画立案、施工法・施工順の決定、作業時間の決定、工程表作成、進捗管理等）	
	(2)　工程管理の手法（バーチャート工程表、ネットワーク工程表、クリティカルパスの管理等）	